

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】 事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください

A事業①

「愛媛グローバルビジネス加速化支援事業」

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

本財団では、創業率の向上を目指し、えひめ中小企業応援ファンド事業や県単独事業による創業者等へ創業に必要な資金的支援や、本財団に設置するビジネスサポートオフィス、よろず支援拠点等による経営相談を行っており、愛媛県内において地域資源を活用し、地域課題を解決するビジネス（愛媛グローバルビジネス）を展開する創業・起業が増加しつつある。

このような中、更なる地域経済の活性化及び地域社会の持続的発展を目指し、創業者が展開する愛媛グローバルビジネスビジネスの早期事業化を促し、成長スピードを加速させることを目的として、経費的支援を実施する。

○支援対象者

愛媛県が実施する創業ビジネスプランコンテスト「EGFアワード」に応募し、かつ、本補助金の応募までに、県内において株式会社、合同会社、合名会社、企業組合、協業組合、特定非営利活動法人等（大企業及びみなし大企業は除く）の設立を行った、法人設立後5年未満の中小企業者

○助成率

助成対象経費の3分の2以内

○助成限度額

2,000千円以内/件

○助成期間

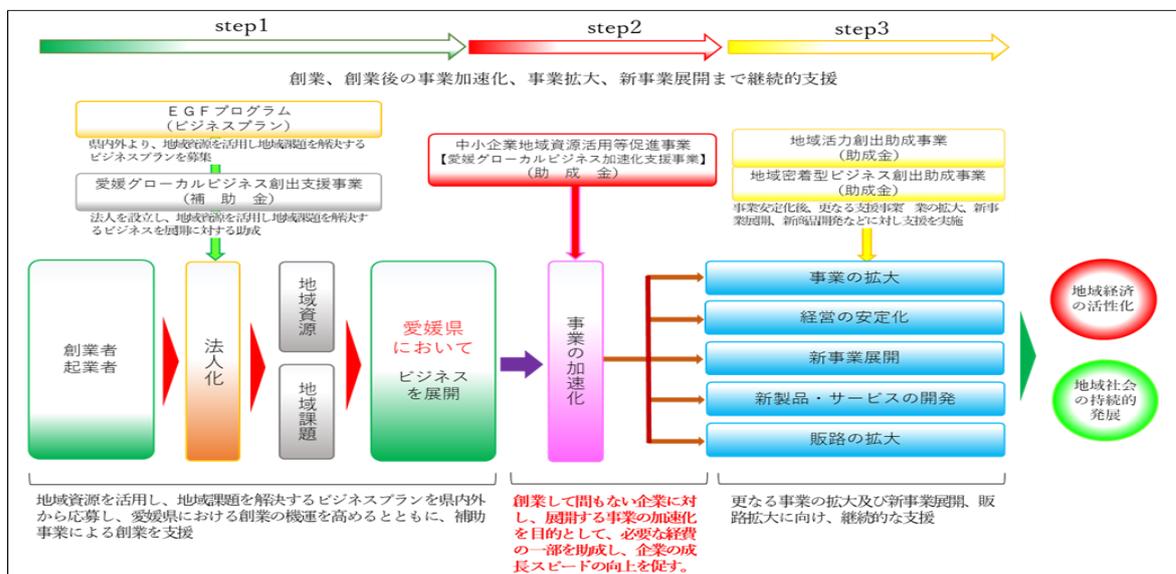
1年以内

○対象経費

人件費、店舗賃借料、原材料費、借料、知的財産権等関連経費、謝金、旅費、外注費、委託費、マーケティング調査費、広報費等

○助成件数

5件程度/年



【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

○実施事業の内容・実績

- ・助成件数
8件（応募11件）
- ・採択額
10,000千円
- ・決算額
10,000千円
- ・助成事業者一覧

（単位：千円）

申請者	事業概要	採択額	決算額
(株)Alkana	IT×医療の連携 医師と薬剤師の連携を強化し、最先端のチーム医療へ	■	■
(同)EIS	大学生のアルバイト先確保と人材教育を視野に入れたオンライン家庭教師サービス	■	■
(株)GATI	採用を切り口とした人事コンサルティング事業	■	■
(同)merrymaker	和紙や水引等の愛媛県産品の販売事業と、県外・海外への発信のためのカルチャースクールの開催	■	■
(同)ケーエムエー	空き家を活用した障害者の共同生活・援助支援（グループホーム）事業の南予地域への広域展開に向けた体制づくり	■	■
(同)まともや	愛南町産ガンガゼウニの加工品開発販売による特産品化の加速化	■	■
(株)ウテナ銘酒	ウテナプロジェクト 01：本格イタリアンリキュール事業のブランド力強化	■	■
富屋インターナショナル (株)	アウトドア市場に向けた商品を開発製造し、県内小規模事業者による協働で販路拡大を目指す	■	■
計 8 件		■	■

○実施した結果生まれた新たな課題等

補助金の公募については、当財団のHP及び関係機関の協力を得て周知を行ったが、結果として、11件の応募に留まったため、更なる案件発掘に努めたい。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

年5件程度の助成を行うという目標に対し、審査委員会で採択案件を審査していただいた結果、1件当たりの助成金額の調整を行った上で、8件の採択を行うことができた。

今年度採択された申請者の多くは、前年度に本財団の創業者向け補助金「愛媛グローバルビジネス創出支援事業費補助金」を活用し、創業を行った中小企業者であり、創業期から本財団の創業コーディネーター等の切れ目のない伴走型支援を受けて着実に事業の高度化が図られ、成長スピードが加速している。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

次年度以降は、更なる競争原理を高めるため、募集方法を工夫して募集案件の発掘に努めることとする。

また、応募案件については、採択を行う審査委員会の実施までに、当財団のビジネスサポートオフィス、よろず支援拠点の専門人材や創業コーディネーター等が応募申請者の事業計画のブラッシュアップ支援を実施しており、応募案件の質を高める支援にも引き続き努めてまいりたい。

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】 事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください

A事業①

「農商工連携新商品開発助成事業」

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

愛媛県における農林水産業は、担い手の減少、高齢化の進行等が相まって、厳しい経営環境にあり、生産性の向上や付加価値の増大による所得向上が喫緊の課題となっている。

このような中、県内の恵まれた農林水産物（地域資源）を生み出す農林水産事業者と優れた食品加工技術を持つ県内中小企業とが有機的に連携し、新たな商品開発を行う取組みに要する経費の一部を助成し、県内農林水産物の消費拡大や中小企業の事業拡大を推進するとともに、地域経済の活性化を図る。

○支援対象者

農林漁業者と中小企業者又は自ら事業を行うNPO法人等の中小企業以外の者との連携体。（ただし、連携体を構成する者のうち県外業者（県内に本社又は事業所等を有しない者）は対象外。）

○助成率

助成対象経費の2分の1以内

○助成限度額

1,000千円以内/件

○助成期間

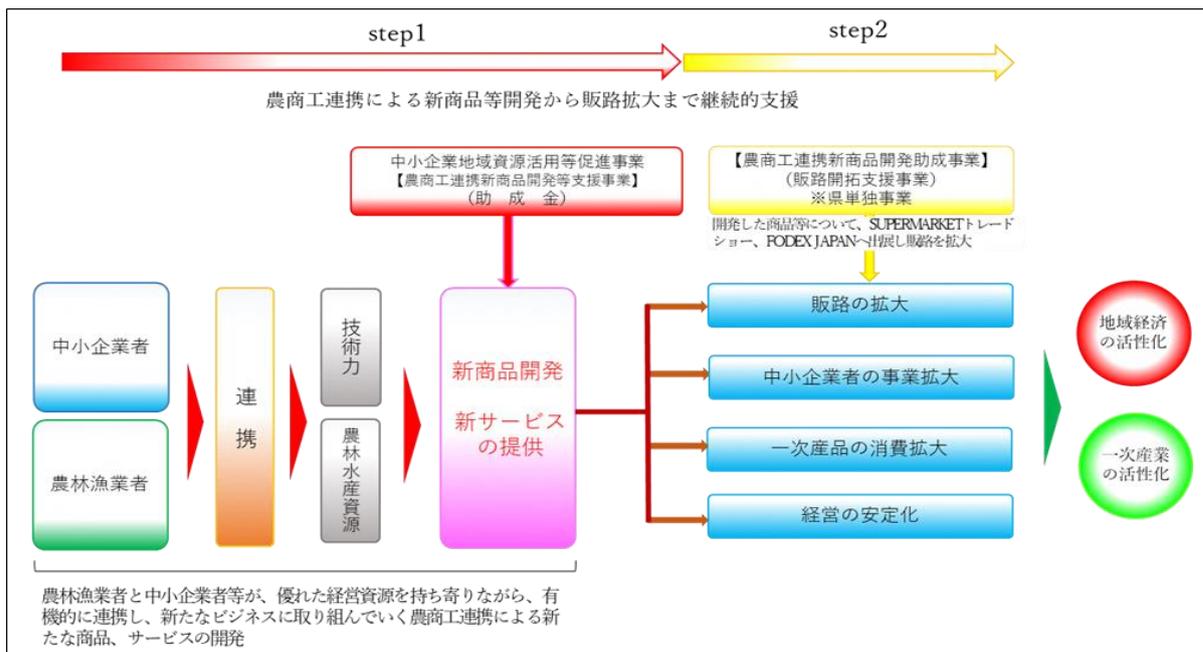
1年以内

○支援対象経費項目

備品費、原材料費、借料、知的財産権等関連経費、謝金、旅費、外注費、委託費、マーケティング調査費、広報費

○助成件数

5件程度/年



【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

- ・助成件数
6件（応募6件）
- ・採択額
5,000千円
- ・決算額
4,734千円
- ・助成事業

（単位：千円）

申請者（連携体）		事業概要	採択額	決算額
中小企業者	農林漁業者			
株式会社GBC	参鍋養鶏場	四国中央市産のこだわり卵を活用した洋菓子（プリン等）の開発・製造	■	■
株式会社愛媛海産	越智今治農業協同組合	今治市産の農産物（トマト、ニンニク）等を活用した総菜加工品開発・製造	■	■
旭合名会社	中川農園	吉田町産の柑橘（レモン、ブラッドレヅ、甘平等）を活用した飲むだしなどの加工品開発、製造	■	■
株式会社MIKAWAYA	株式会社OCファーム 暖々の里	松山市北条産の玉葱等を活用したピクルス等の開発、製造	■	■
唐川びわ葉茶生産研究会	西岡農園	伊予市唐川産のびわの葉を活用した加工品開発・製造	■	■
近藤酒造株式会社	株式会社三代目みかん職人	八幡浜産温州みかん等と甘酒を活用した和洋菓子の開発・製造	■	■
計6件			■	■

○実施した結果生まれた新たな課題等

補助金の公募については、当財団のHP及び関係機関の協力を得て周知を行ったが、結果として、6件の応募に留まったため、更なる案件発掘に努めたい。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

年5件程度の助成を行うという目標に対し、審査委員会で採択案件を審査していただいた結果、1件当たりの助成金額の調整を行った上で、6件の採択を行うことができた。

今年度採択された連携体の中小企業者の多くは、これまでも県内農林水産物を活用した特徴ある新商品開発を行った実績のある企業であり、本財団が愛媛県の委託を受けて設置する農商工連携ビジネスプロデューサー等の伴走型支援により、県内百貨店のギフト商品に採用される例もあるなど着実に事業の成果を挙げている。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

次年度以降は、更なる競争原理を高めるため、募集方法を工夫して募集案件の発掘に努めることとする。

また、応募案件については、採択を行う審査委員会の実施までに、当財団のビジネスサポートオフィス、よろず支援拠点の専門人材や農商工連携ビジネスプロデューサー等が応募申請者の事業計画のブラッシュアップ支援を実施しており、応募案件の質を高める支援にも引き続き努めてまいりたい。

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】 事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください。

A事業①

えひめ中小企業等アクティブ・サポート事業【ものづくり産業支援事業】

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

県内の「ものづくり産業」全般を支援対象に、産官学が連携した研究部会を設置し、新商品の開発促進を目的とする。具体的には、県内ものづくり企業の新技術や製品の開発に必要な資材購入など試験費用を助成・支援する。また、新製品の企画・立案や製品開発の問題解決に関して助言・指導等を行う専門家の招へい等に対する支援を行う。さらには大型展示会の出展といった販路開拓に向けた取組みに対しても支援を行う。

この他、新たな支援企業等、新製品・新技術を発掘し、本事業終了年度以降の国の研究開発助成事業の獲得・活用を図れるよう支援に取り組み、更なる地域経済の活性化を目指す。

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

別紙研究成果パネル

① 「シキミ廃棄物を利用したリラックス用アロマ製品」 研究部会

「シキミ廃棄物を利用したリラックス用アロマ製品」 研究部
株式会社村田 井内区人・空・棚田を生かす会 愛媛大学、愛媛県産業技術研究所

概要

近年の価値観の多様化、細分化、また、慣習の形骸化に伴い、葬儀業においてもニーズが変化している中、「終活」、「家族葬」等の増加、また、葬儀に使用する品（線香、焼香、骨壺等）もオリジナル性があるものが求められています。今回、産官学民が連携し東温市井内地区のシキミ未利用部分（伐採時に発生する枝・葉）の有効利用を目的にしたシキミ線香の開発に取り組みました。

目的



内容

精油測定装置（水蒸気蒸留）でシキミ精油採収/MS分析 サフロール、ユーカリプトロール、オイゲノール、リナロール等が固定

葉色素（鶯色）保持の乾燥条件検討(2日弱乾燥 ⇒粉砕⇒80メッシュ (φ.177mm) シキミ粉⇒線香試作 淡路梅薫堂株式会社

今後について

シキミ未利用部分（伐採時に発生する枝・葉を使用し「爽快感」、「フレッシュさ」をイメージさせる植物系香原料の線香を試作しました。今後訴求力を持たせた市場展開を目的にシキミ線香品質分析、販売戦略（ロゴマーク・パッケージデザイン開発等）に取り組みます。

本研究は、ものづくり産業支援事業により実施しました。
「この事業は、中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用して実施しています」

「雪温熟成野菜」研究部会

株式会社中温 愛媛県産業技術研究所 食品産業技術センター/企画管理部
高知工科大学 ものづくり先端技術研究所 産業技術総合研究所 四国センター

北陸などの多雪地帯では、栽培中の野菜を雪中に保存し越冬させる手法があります。雪中は常に温度0℃、湿度95%近傍で一定であり、この環境下で保存された野菜は糖度等が向上することが知られています。

不凍液で冷媒を覆い、冷気の壁を作ることで庫内温度変化の波を抑える「雪温」保冷库は、温度0℃湿度95%近傍で一定の雪中環境を再現できます。当研究部会では、この技術を活かし、「雪温」保冷库中に人参を長期間熟成保存し、甘味や旨味が向上した熟成野菜の研究開発を行いました。

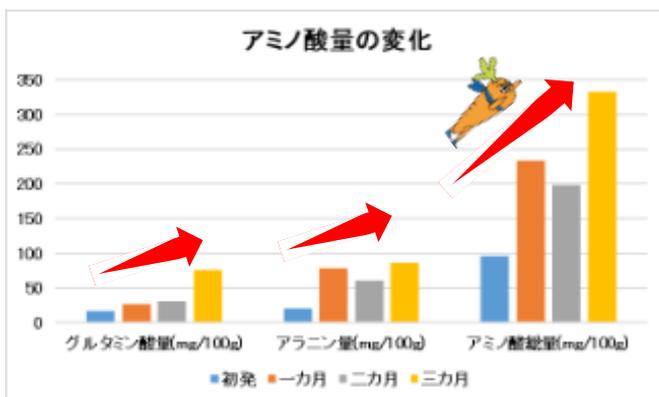


「雪温」保冷库



「雪温」保管中の人参

熟成野菜の検討は、(株)中温にて利用の多い人参を用いて行いました。「雪温」保冷库内に保存した人参に対して、一か月おきに甘味(糖度)と旨味(アミノ酸)を測定し、「雪温」熟成の可能性について研究しました。



三か月までのアミノ酸の測定の結果、グルタミン酸(旨味成分)とアラニン(甘味成分)が大きく上昇しており、アミノ酸総量も増加していました。糖度は三か月保存で0.3度と微増していました。

「雪温」保冷库を用いた熟成野菜について研究したところ、甘味(糖度)と旨味(アミノ酸)が向上した熟成人参の開発ができました。今後は、さらに正確なデータを集めるとともに、人参以外の野菜についても熟成が可能かどうか検討し、熟成野菜を用いた製品開発を行っていく予定です。

③「砥部焼デザイン・販路開拓」研究部会

「砥部焼デザイン・販路開拓」研究部会

器工房 巳 陶房Kibi 石本 達 器屋ひより
素器工房 三好 教代 窯業技術センター

これまでの砥部焼は近隣店舗や砥部焼まつりなど地元での対面販売が主でしたが、スマートフォンやSNSの普及により積極的な情報発信を行うことで県外や海外への販路開拓が可能となるため、情報発信力の強化が重要になってきました。

そこで本研究部会では、若手陶芸家名が従来の砥部焼とは異なる新たなデザインの作品やそれを発信するHPを制作し、砥部焼の新たなビジネスモデルの構築に取り組みました。



- 令和2年度の成果として、作品制作と英語併記のホームページ作成を行いました。（2月8日知事報告）
- 令和3年度は作品の展示会と、ECサイトの構築を計画しています。
- 今後、HPを活用して積極的な情報発信を行っていき、海外を含めた販路拡大に取り組んでいきます。

本研究は、ものづくり産業支援事業により実施しました。
「この事業は、中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用して実施しています」

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】 事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください

A事業②

「愛媛グローバルビジネス加速化サポート事業」

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

地域資源を活用し、地域課題を解決するビジネスプランの早期事業化に向け、創業間もない企業が直面する課題を早期に解決し、事業化を加速させるため、「愛媛グローバルビジネスメンター」による伴走型支援を実施し、企業の基礎体力の向上、事業拡大、経営の安定化を目指す。

○支援対象者

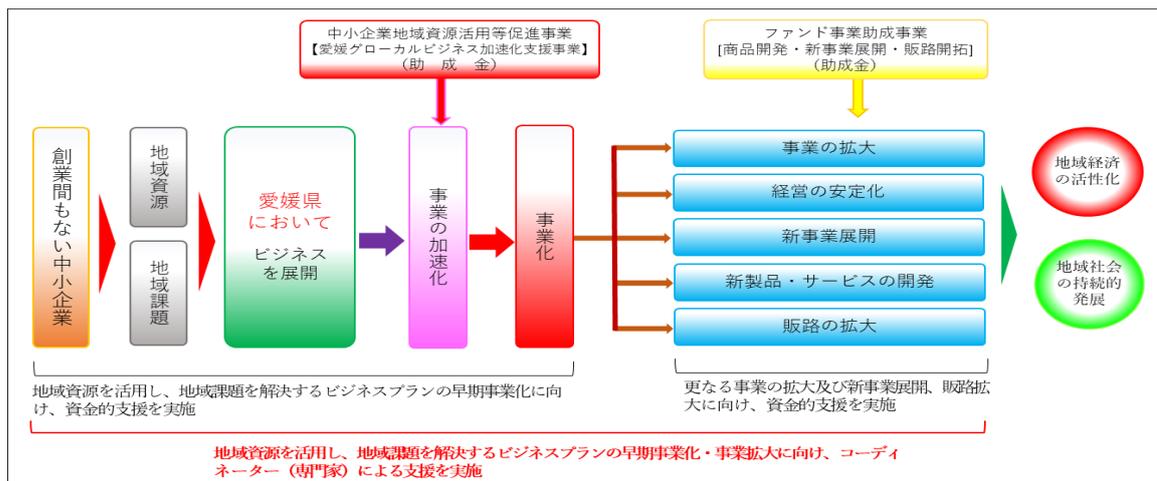
- ・愛媛グローバルビジネス加速化支援事業費補助金の採択者
- ・法人設立後5年未満の中小企業者

○対象経費

伴走型支援に必要なコーディネーター謝金、旅費、通信運搬費

○支援対象件数

3件程度／月 30件程度／年



【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

○実施事業の内容・実績

- ・支援対象件数
延べ62件／年
- ・支援対象者一覧

支援時期	支援対象者	相談内容	助成金結果
4月	(同) 1件	今年度の愛媛グローバルビジネス加速化支援事業費補助金等の応募申請に係る相談	(同)merrymaker が補助金応募
5月	株 16件	今年度の愛媛グローバルビジネス加速化支援事業費補助金等の応募申請に係る相談	株Abbyほか9者が補助金応募
6月	(同) 19件	今年度の愛媛グローバルビジネス加速化支援事業費補助金等の応募申請に係る相談	(同)EISほか15者が補助金応募
7月	株 8件	今年度の補助金の採択者に係る支援 来年度の補助金応募者に係る相談	-

9月	株■■■■など 13件	今年度の補助金の採択者に係る支援 来年度の補助金応募者に係る相談	—
11月	(同)■■■■など 5件	今年度の補助金の採択者に係る支援 来年度の補助金応募者に係る相談	—

○実施した結果生まれた新たな課題等

ビジネスメンターが関係機関の協力を得て「愛媛グローバルビジネス加速化支援事業費補助金」の応募案件の発掘に努めたが、結果として11件の応募に留まったため、更なる案件発掘に努めたい。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

年30件程度の支援を行うという目標に対し、延べ62件の相談支援を行うことができた。

今年度採択された愛媛グローバルビジネス加速化支援事業の申請者の多くは、前年度に本財団の創業者向け補助金「愛媛グローバルビジネス創出支援事業費補助金」を活用し、創業を行った中小企業者であり、創業期から本財団のビジネスメンター等の切れ目のない伴走型支援を受けて着実に事業の高度化が図られ、成長スピードが加速している。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

次年度以降は、更なる競争原理を高めるため、募集方法を工夫して募集案件の発掘に努めることとする。

また、応募案件については、採択を行う審査委員会の実施までに、当財団のビジネスサポートオフィス、よろず支援拠点の専門人材や創業コーディネーター等が応募申請者の事業計画のブラッシュアップ支援を実施しており、応募案件の質を高める支援にも引き続き努めてまいりたい。

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】 事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください
えひめ中小企業等アクティブ・サポート（エンジニア成長支援事業） A事業②

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

近年、AIやIoTなどの新たなIT技術の活用が求められるようになってきており、愛媛県内においても例外ではない。

県内IT企業等においても、AI・IoTなどの新しい技術への対応が急がれるとともに、既存の技術においても継続的なスキルアップが必要であることから、今後は、エンジニアの新技术への対応やスキルアップへの支援策を検討していく必要がある。

このことから、個人で活動するいわゆるフリーランスを含む県内のIT技術者の新技术への対応やスキルアップを支援するため、既存の県単独事業(高度IT人材創出・育成事業)を活用し、当財団において令和2年度から新たにエンジニアの成長を促進するための実践的で交流を促す講座を新設し、IT技術者の活動交流の場づくりにも取り組んでいく。

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施できなかった。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

IT技術者の交流を促すという目的もあることから、できる限り集合での実施を図ることとし、新型コロナウイルス感染対策を講じて実施する。

注1) 上記項目について詳細に記載してください。

注2) 成果（結果）の内容について、別途、お伺いすることがあります。

注3) 成果物があれば提出してください。